

1 市民意見公募の実施状況と結果について

(1) 公表した案

「立川市産業振興計画素案」

(2) 案の公表場所

市ホームページ、産業観光課窓口、3階市政情報コーナー、窓口サービスセンター、女性総合センター、子ども未来センター、たましんRISURU ホール（市民会館）、学習館、図書館

(3) 意見提出期間

令和7年12月25日 ～ 令和8年1月20日

(4) 結果

ア 提出者数 1名

郵送	ファックス	Eメール	HPフォーム	来所
0名	0名	0名	1名	0名

イ 意見の件数 4件

全体に関わる こと	第1章 計画の概要	第2章 社会情勢・ 経済情勢	第3章 立川市の産業を 取り巻く環境	第4章 基本方針と施策	第5章 計画の推進に 向けて	その他
0件	0件	0件	1件	3件	0件	0件

ウ 市の回答結果

意見を反映するもの	市の考え方を説明するもの	その他
0件	4件	0件

※1名の方から複数の意見が提出されている場合は、それぞれの内容ごとに件数をカウントしています。

2 意見と市の考え方について

(1) 意見を反映するもの (0件)

整理番号	該当箇所	意見	市の考え方

(2) 市の考え方を説明するもの (4件)

整理番号	該当箇所	意見	市の考え方
1	第3章	<p>“技術に詳しい人材がいない”について、どれくらい詳しい人材が必要なのか、各事業者が求めている人材はハード寄りなのかソフト寄りなのか、どのような観点で事業者が困っているのかわかりませんでした。どのような人材が求めているかが分かれば、例えば市でオンラインセミナーを開催して詳しい人に登壇していただく、DXソリューションを扱う企業に助成金を出して、立川市内で実施するソリューションの展示会を行い事業者に触れてもらう、など様々な解決策が考えられます。また、事業者の課題感とソリューションのマッチングを市が仲介するという方法も考えられます。</p> <p>(こういった展示会やイベントが行われるのがお台場や羽田で、立川からなかなか足が向かない、といったミスマッチもあると感じます)</p>	<p>デジタル化に関する人材不足については、事業者の業種や規模、課題内容によって求められるスキルが異なるため、一律に整理することが難しい面があります。一方で、ご指摘のとおり事業者が「どのような点で困っているのか」「どのレベルの支援を求めているのか」などの課題を把握することは、効果的な支援施策を検討する上で重要です。市内の支援機関とも連携しながら事業者の課題把握に努めるとともに、支援施策の充実と情報発信を強化し、事業者のDXを後押ししてまいります。</p>

整理 番号	該当箇所	意見	市の考え方
2	第4章	<p>スタートアップのファウンダーにとって、拠点やオフィスを構えるにあたって重要視する点を抑えた上で、どうすればスタートアップに選んでもらえるかを考えていただけないかと思いましたが、現状で都心のシェアオフィス等が選ばれている理由は何か、例えば“出資者とすぐに会える”“企業としてのブランドを重視している”等が考えられます。その中で立川が都心部とどう違うのか、差別化とブランディングが肝要です。</p>	<p>スタートアップの拠点選定においては、投資家や支援者とのアクセス、企業イメージ、ネットワーク形成のしやすさなど、複合的な要素が重視されていると認識しています。本計画においては、多摩地域の中核拠点としての立地、都心部よりも比較的低廉なオフィス環境、支援機関の集積、生活環境と仕事環境の近さ、といった立川ならではの特性を活かし、スタートアップにとって「選ばれる拠点」となることを目指しています。スタートアップ支援拠点や支援施策の充実とあわせ、立川の強みや価値を分かりやすく発信することで、差別化とブランディングに取り組んでまいります。</p>
3	第4章	<p>効率化事例として、つい先日「Tokyo 区市町村 DX Connect Day 2025」で賞を獲得した市の生成 AI 活用の事例を、幅広く市民に周知すべきです。発表の様子を YouTube で見ましたが、とても良い取り組みだと感じました。こういった身近なところで DX が生きていて、どれくらいの効果があるのか、せつかく職員の方が頑張った結果なので民間にもアピールすべきです。</p>	<p>本市といたしましては、いただいたご意見を踏まえ、生成 AI の活用事例について、関係部署と連携しながら、広く市民に周知するとともに、民間事業者に対しても積極的に発信していくよう努めてまいります。</p>

整理 番号	該当箇所	意見	市の考え方
4	第4章	立川はとにかく交通事情がよくないと感じます。道路整備は都に任せきりで進まず市内の至るところで渋滞がおき、鉄道も新幹線駅の大宮、東京、新横浜のどこからも遠く、空港も遠い。市内在住の自分が地方から帰ってくると、東京と地方を結ぶ拠点の中心駅から立川まで、1時間近く要し、大きな負担です。拠点を置く企業にとっては、お客様先への訪問はもちろん、来訪者の方にも同じだけの労力を強いることになるので、足が向かなくなることもありえます。市内の移動の円滑化、立川と都心部との速達化が急務だと思います。それこそ、市長さんが掲げてた“南武線による羽田空港ダイレクトアクセス”の早期実現を求めたいです。	交通利便性は、企業の立地判断や事業活動において重要な要素であるものと認識しています。道路整備や鉄道・空港アクセスなどの広域的な交通基盤については、関係部署と連携しながら、引き続き利便性の向上に努めてまいります。本計画においては、立川が多摩地域の中核的な拠点として持つ集積力や利便性を活かし、成長産業の立地・集積を促進してまいります。

(3) その他（参考意見として庁内で共有するもの）（0件）

整理 番号	意見